

福本 修副議長、渡部 雅男議員 全国町村議会議長会から表彰



福本副議長は、昭和56年旧横田町議会議員に初当選され、以来今日まで永きにわたり町議会議員を務められ、その間、平成5年からは副議長、平成11年からは議長、奥出雲町議会においては副議長を務められています。議会においては、常に民意が町政に反映するよう努められ、また円滑な議会運営にも多大の貢献をされました。



渡部議員は、平成3年旧仁多町議会議員に初当選され、以来今日まで町議会議員を務められ、平成4年からは総務常任委員会副委員長、平成11年からは福祉厚生常任委員会委員長、奥出雲町議会では議会運営委員会委員長の要職を歴任され、町の発展に大きく貢献されました。

将来の農業振興を考える 中国四国農政局長講演会

農林水産省中国四国農政局の鮫島信行局長による講演会が二月二十五日、カルチャープラザ仁多において開催されました。この講演会は、厳しい情勢が続く中山間地域農業や少子高齢化による担い手不足などの農業農村の抱える諸課題とその対策、さらには農産物の高付加価値化と「安心」、「安全」な食べ物への欲求など多様化する消費者ニーズへの的確な対応等に



将来の農業振興を語る鮫島局長

ついて考えようと企画されました。

主催者を代表し岩田町長は、「この講演会が奥出雲町において足腰の強い農業の振興、地域の活性化の糧となるよう期待し、また、引き続きご指導、ご支援をお願いしたい」と挨拶しました。

「農業・農村の将来展望と地域振興のキーワード」と題して行われた講演では、農林業センサスのデータを基に「中四国の販売農家（経営耕地面積三十坪以上、または販売金額五十万円以上）人口は二十年后には約四分の一に減少することが予想され、働く世代の負担が増え経営を四倍にしなければ食糧の供給力が低下する。また二十坪の農家が一千万円以上の所得を確保するには六十坪あたり一万五千円程度の手取りが必要になります」と説明がありました。



多くの方が聴講しました

また全国の成功事例から地域の振興のキーワードとして「産地の情報発信を図るためリーダーからサポーターを育てるよう

ステップアップし、またセンスあるホームページの更新など消費者のニーズを的確につかむよう日々工夫と努力が不可欠です」と指摘されました。会場に訪れた約三百六十人は、将来の奥出雲町の農業振興に活かそうと熱心に聴講され有意義な講演会となりました。

(有)コスモ21 農林水産省経営局長賞を受賞

全国の優良な認定農業者、集落営農等を表彰する平成18年度担い手表彰事業において、(有)コスモ21が農林水産省経営局長賞を受賞しました。

コスモ21では「魅力ある農業経営」を目標に、最新技術の導入による減農薬有機栽培米の生産、町内の生ゴミを活用した有機農法への取り組みなど循環型農業を実践し、また協賛農家への指導等も行い、全国ブランド「仁多米」の知名度の向上・高品質化、地域農業の活性化に大きく貢献されました。



島根リハビリテーション学院 第6回卒業証書授与式



感謝の言葉を述べる水野さん

三月十日、島根リハビリテーション学院の卒業証書授与式がカルチャープラザ仁多において行われました。

今年の卒業生は理学療法学科三十一人、作業療法学科三十一人で、学院での厳しい教育課程、全国での半年間にもわたる臨床実習等を積み、卒業の日を迎えました。

式典には保護者、岩田町長をはじめ多くの来賓、学院関係者等約四百人が出席し、下山学院長から卒業生一人一人に卒業証書が授与されました。山口県出身の水野直也さんが「奥出雲町で多くの方に支えられて学んだこの四年間

は、一生忘れられない思い出になりました。私たちは島根リハビリテーション学院出身者としての誇りを持ち、社会に出て行きます」と卒業生を代表して感謝の言葉を述べました。

島根リハビリテーション学院の卒業生は、四年課程のため昨年度から高度専門士の称号が付与され、全国の医療現場で即戦力として活躍しています。

今年も厳しい社会・経済情勢の中ですが全員の就職が内定しており、リハビリのスペシャリストとして羽ばたいてくれることでしょう。

交通事故ゼロを目指す 奥出雲町はつらつクラブ設立

奥出雲町内の高齢者交通安全運動の母体となる奥出雲町はつらつクラブの設立総会が二月二十七日、役場横田庁舎で開催されました。

はつらつクラブは旧仁多、横田両町でそれぞれ組織されて活動が行われてきましたが、奥出雲町においても郡内の交通事故防止運動を一層推進しようとして設立されました。

総会には小川雲南警察署長をはじめ来賓、会員等約八十人が出席し、規約の承認、地区役員紹介等が行われました。

また最近の雲南管内の交通情勢、特に高齢者に関する交通事故について小川署長からお話がありました。小川署長からは「雲南において夜間・国道・高齢者の



総会で交通情勢について説明する小川署長

が中心となって運転する人、歩く人に交通情勢を説明し、奥出雲町では事故ゼロを目指してほしい」と励ましと期待の言葉がありました。